

E. coli 由来の組換え $\square$ 異体 (Met62Val) プリンヌクレオシドホスホリラーゼ

Cat. No. NATE-1000

Lot. No. (See product label)

はじめに

$\square$ 明 プリンヌクレオシドホスホリラーゼは、プリン代謝に関与する酵素です。PNPはアデノシンをアデニンに、イノシンをヒポキサンチンに、グアノシンをグアニンに代謝します。PNP遺伝子の $\square$ 異は、プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠乏症の原因となります。

用途 これらの酵素は、効率的な抗ウイルスおよび抗腫瘍 $\square$ である修飾ヌクレオチド（virasol、cladribine、fludarabine）の合成に広く使用されています。

別名 プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; EC 2.4.2.1; 9030-21-1

製品情報

種	大腸菌
由来	大腸菌
外 $\square$	無色透明な液体
EC番号	EC 2.4.2.1
CAS登 $\square$ 番号	9030-21-1
分子量	156 kDa
純度	> 95 %
活性	27 U/mg

保管・発送情報

保存方法 -20度Cで保管してください。長期保存の場合は、-20度Cまたは-80度Cで保存してください。